

福岡市消防局の「救助総合訓練」って知っていますか？

1 どんな訓練？

1年に1度、福岡市の救助隊が集まって、日頃の鍛えた力を思いっきり発揮するビッグイベントです。

しかも、訓練内容は当日までヒミツ！現場に行って初めて状況が分かる、災害さながらのぶっつけ本番です。

普段は市内で活動している7つの救助隊が参加します。企画や準備は「機動救助隊（ハイパーレスキューFUKUOKA）」が担当します。



2 いつ頃実施しているの？

(1) 時期：毎年1月～3月ごろの2日間

(2) 規模：1日あたり約50人、2日間で延べ100人の消防隊が参加します。

3 どんなことをやるの？

(1) 火災の現場を再現！

発煙筒で煙を出して、真っ白で何も見えない中で人を探し出します。はしごを使って高い場所から救出することもあります。



(2) 交通事故からの救出！

車に閉じ込められた人を助けるために本当に車を壊して救出します。ロープを使って、高い場所や狭い場所からも救出します。

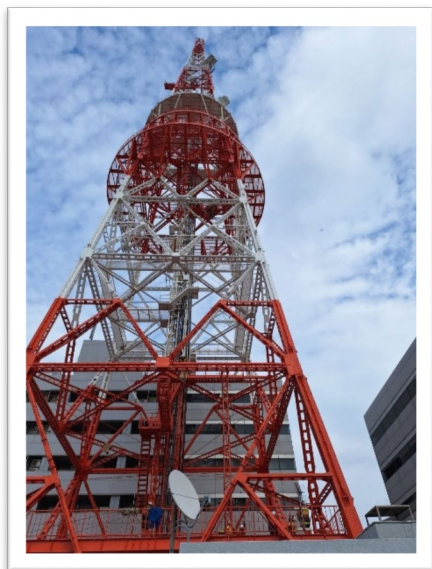
(3) 地震で崩れた建物から！

コンクリートを壊して、狭い場所に取り残された人を助けます。大きな音やほこりもですが、それもリアルな訓練の一部です。

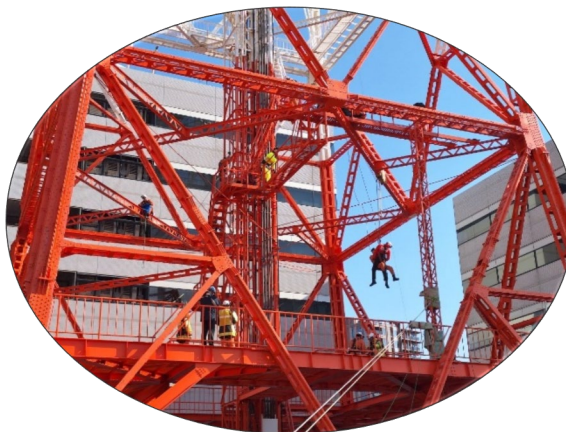


4 ちょっと変わった場所での訓練も！

(1) 高層建物での救出訓練（KBC 鉄塔）

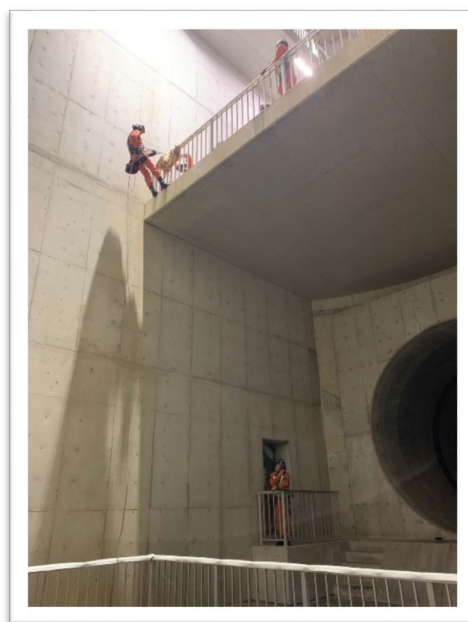


九州朝日放送（株）様のご協力により、凄く高い場所で作業員が宙吊りになった場面を再現して訓練を実施しました。訓練場よりも遥かに高い場所での活動に、救助隊員もちょっとだけ(?)怖がっています。



(2) 地下施設での救出訓練（長浜特殊人孔）

地下大型排水溝を活用して、穴の中でケガをした人、低い場所へ落ちてしまった人を助ける訓練を実施しました。音が反響してコミュニケーションが取りにくい環境で、チームワークが試される訓練でした。



5 もちろん安全第一！

- (1) 命綱や安全装置は必ず使用しています。
- (2) 訓練場所は傷がつかないように、しっかり保護して訓練を行います。
- (3) 防音対策や近隣住民への広報を行い、周囲に配慮して実施します。

この訓練は、いざという時に市民の皆さんを守るための大事な訓練です。
日々の訓練で鍛えた消防隊員たちは、どんな状況にも全力で挑みます！